

事業群評価調書(令和元年度実施)

基本戦略名	4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	事業群主管所属	県民生活部男女参画・女性活躍推進室
施策名	(2) 女性の活躍推進	課(室)長名	有吉 佳代子
事業群名	① あらゆる分野における男女共同参画の推進	事業群関係課(室)	
	② 女性のライフステージに応じた就労支援及び男女がともに働きやすい環境の整備		
	③ 女性の人材育成と活躍促進		

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チャレンジ2020 本文)</p> <p>①男女共同参画社会の実現を目指し、長崎県男女共同参画推進員及び市町等と連携した普及啓発等により、政策決定過程への女性の参画拡大、家庭生活や地域活動への男性の参画促進など、あらゆる分野における男女共同参画を推進します。</p> <p>②働きたい、働き続けたいという女性の希望の実現のため、出産・子育て・介護等の女性のライフステージに応じた就労支援を行うとともに、女性の職域拡大への支援を行います。また、男女がともに働きやすい環境づくりの促進や仕事と家庭の両立に向けた保育サービスの充実に取り組みます。</p> <p>③女性の活躍を促進するため、女性の人材育成や企業・団体等における女性の登用等を促進するとともに、起業など地域における女性の活躍を支援します。</p>	<p>(取組項目)</p> <p>i)男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備(事業群①) ii)女性のライフステージに応じたきめ細かな就労支援の実施(事業群②) iii)男女がともに働きやすい環境の整備(事業群②) iv)女性の人材育成と活躍促進(事業群③)</p>
---	---

事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	①「男女共同参画社会」という用語の認知度	目標値①		80.0%	81.0%	82.0%	83.5%	85.0%	85.0% (R2)	
	実績値②	79.2% (H27)	84.0%	81.5%	82.9%			進捗状況		
	②/① (達成率)		105%	100%	101%			順調		
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	②女性のライフステージに応じたきめ細かな就労支援を行った。その結果、年間就職者数は537人となり、当該年度の目標を達成した。(平成29年度422人から115人増加) このうち、巡回相談については、31人であった。(平成29年度22人から9人増加) なお、当初設定していた目標値を達成したため、数値目標を上方修正した(平成30年度)。 ③女性人材の掘り起こし及びネットワーク登録に努め、登録件数83件となり、当該年度の目標を達成した。(平成29年度60件から23件増加) 引き続き、女性人材ネットワークの登録促進に向け、県庁各部署や市町、男女共同参画推進員等から幅広い分野の女性人材の情報収集を行っていく。
	②「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(単年)	目標値①		219人	226人	458人	458人	458人	458人 (R2)	
	実績値②	16人 (H26)	481人	422人	537人			進捗状況		
	②/① (達成率)		219%	186%	117%			順調		
事業群	指標		基準年	H28	H29	H30	R元	R2	最終目標(年度)	③女性人材ネットワーク登録件数(累計)
	③女性人材ネットワーク登録件数(累計)	目標値①		60件	70件	80件	90件	100件	100件 (R2)	
	実績値②	0件 (H26)	23件	60件	83件			進捗状況		
	②/① (達成率)		38%	85%	103%			順調		

2. 平成30年度取組実績(令和元年度新規・補正は参考記載)

事業番号	取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(単位:千円)			事業対象	事業概要 平成30年度事業の実施状況 (令和元年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				平成30年度事業の成果等	中核事業	
				H29実績	うち 一般財源	人件費 (参考)			指標	主な目標	H29目標	H29実績			達成率
				H30実績							H30目標	H30実績			
				R元計画	R元目標	R元実績									
1	取組項目 i	男女共同参画基本施策推進事業	H27-R2	14,009	14,009	4,023	県民	県、男女共同参画推進員、市町、男女共同参画推進センター等の連携を強化し、男女共同参画基本計画を効果的に推進した。			活動指標	ラジオ番組の放送回数(回)	24	24	
				11,367	11,278	6,378			24	24			100%		
		18,507		18,258	9,568	「男女共同参画社会」という用語の認知度(%)			81.0	81.5			100%		
		男女参画・女性活躍推進室						成果指標		82.0	82.9	101%			
										83.5					
2	取組項目 ii	男性の家事育児等参画促進事業	(R元新規) R元-3	/	/	/	職場の管理職、男性等	県下全域にてイクボスをテーマにした川柳の実施等を通してイクボスの認知度向上を図るとともに、職場の経営者や管理職等を対象とした啓発動画や自己診断ツールにより意識改革を図り、男性の家事・育児等への参画等に対する職場の理解を促進する。	活動指標	啓発動画コンテンツの製作本数(本)	/	/	/	-	○
				/	/	/					/	/	/		
		3,182		1,591	5,581	成果指標					家庭生活において男女が家事や育児等を協力して行っていると思う人の割合(%)	45.2			
		男女参画・女性活躍推進室													
3	取組項目 iii	幸せ家族ライフデザイン応援事業	(R元新規) R元-3	/	/	/	県内の大学生、子育て期の夫婦	県内大学生および子育て期の夫婦を対象に、ライフデザインセミナーを実施し、自身及びパートナーのキャリアデザイン等を考える機会を設けることで、女性の継続就業、仕事と家庭の両立などについての意識啓発を図る。	活動指標	ライフデザインセミナー実施回数(回)	/	/	/	-	○
				/	/	/					/	/	/		
		1,574		788	3,987	成果指標					家事・育児等の家庭内シェアの必要性の理解度(%)	80			
		男女参画・女性活躍推進室													
4	取組項目 ii	女性の再就職応援事業	H29-R2	14,457	8,382	4,828	就職を希望する女性	長崎県総合就業支援センター内に設置した「ウーマンズジョブほっとステーション」における就業相談や職場見学付セミナー等の実施、また、県内各地域で巡回相談を実施することにより、育児・介護などで制約が多い女性の就業について、相談者一人ひとりに寄り添った支援を行った。	活動指標	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間延べ相談件数(件)	1,500	943	62%	●事業の成果 ・ウーマンズジョブほっとステーション及び巡回相談等において、ライフステージに応じたきめ細かな就労支援を実施し、537人の働きたい女性の後押しをすることができた。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・本事業の実施により、事業群②の目標値の達成に寄与した。	○
				15,139	7,570	4,783					1,500	621	41%		
				14,854	7,432	6,378					成果指標	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数(人)	445		
										458	537	117%			
		男女参画・女性活躍推進室								458					

5	取組項目 iii iv	企業における女性活躍推進事業	H29-R2	18,339	7,186	9,655	県内企業、若手社員・大学生(男女とも) 県内企業、女性社員等	女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定・実行等を支援するとともに、「ながさき女性活躍推進会議」と連携し、女性人材育成、ワーク・ライフ・バランスの推進などによる男女が共に働きやすい職場環境の整備を推進した。 女性のためのキャリアアップ研修を実施し、管理職候補となる女性を育成することによって、将来の女性管理職増加による女性の企業運営への参画につなげた。	活動指標	計画策定に係る地域別説明会・個別相談会開催回数(回)	6	6	100%	●事業の成果 ・女性活躍推進法の一般事業主行動計画策定に係る説明会・相談会を計4回(県内2地区×2回)開催し、29社32名が参加した。参加企業のうち、約6割が「計画の策定を検討する。」と回答するなど、計画策定に向けた意識転換を図ることができた。併せて、職場環境づくりアドバイザーを派遣し計画策定に寄与した。 ・ミドルマネジメント講座(5回連続講座)を、3地区(長崎、佐世保、諫早)で開催し、女性の人材育成に寄与した。 ・受講後のアンケートによる参加者の満足度は100%と目標を上回り、ほとんどの受講者において、管理職になることに前向きになるなど気持ちの変化があった。 ●事業群の目標(指標達成)への寄与 ・女性が働きやすい職場環境を推進するとともに、女性管理職の登用を促進することで、女性の再就職への意欲向上につながり、就職者数の増加に寄与した。
		男女参画・女性活躍推進室		15,167	6,572	9,566				従業員300人以下の企業のうち、女性活躍推進法の一般事業主行動計画策定企業数(累計:件) 100	40	15	37%	
		14,342		5,645	7,176	ミドルマネジメント講座受講者の満足度(%)				80	100	125%		
6	iii iv	若者意識改革事業	(H30 終了) H29-30	689	348	4,023	県内大学生を対象に、ライフデザインやキャリアデザインのセミナーを実施し、学生自身のキャリアデザインやワーク・ライフ・バランス等を考える機会を設けることで、継続就業や仕事と家庭の両立などについて若者の意識啓発を図った。	活動指標	ライフデザイン&キャリア形成セミナー実施回数(回)	11	9	81%	●事業の成果 ・県内9大学10箇所にて計13回開催し、延べ662名の学生が受講した。 ・自身がこれから県内で生活する収支計算やロールモデルの経歴等の講義により、継続就業や仕事と家庭の両立などの意識の醸成に寄与した。	
		男女参画・女性活躍推進室		192	101	3,986			ライフデザイン&キャリア形成セミナーによる意識啓発度(%) 80	80	91.2	114%		
		80		95.1	118%									
7	iii iv	女性起業家応援事業	(H30 終了) H29-30	1,530	765	3,218	女性の新しいキャリアステージの形(女性の能力発揮、自己実現の場)としての起業を支援するとともに、創業時から事業継続時までを支える伴走型支援を行った。	活動指標	地域起業相談員育成研修会開催回数(回)	1	1	100%	●事業の成果 ・女性の起業支援に関わる地域起業相談員育成研修を1回開催し、14名の相談スキル向上を図った。 ・女性起業家掘り起こしセミナー・相談会を県内3地区で開催し、75名が参加した。 ・アンケートでは回答者のほとんどが起業への想いが強くなったと回答しており、具体的に起業を考え始める女性を掘り起こすことができた。	
		男女参画・女性活躍推進室		1,150	576	3,189			「大浦お慶起業家育成プログラム」における起業件数(累計:件) 30	15	7	46%		
		30		8	26%									

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i) 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

- ・県が委嘱している男女共同参画推進員・男女共同参画アドバイザーの活動や県内8地域に設置した地域活動促進会議における地域に根ざした取組を支援した。
- ・「地域における男女共同参画リーダー育成事業」(以下、「リーダー育成事業」)では、「防災における男女共同参画」、「ワーク・ライフ・バランス」を基礎研修のテーマとして設定し、推進員やアドバイザーに地域で活動するにあたって必要となる知識や考え方を学んでいただくとともに、実践研修において、各地域主体で男女共同参画に関する取組を企画・実施していただいた。
- ・各地域の男女共同参画推進のリーダーとなる方々が地域で主体的な活動に取り組むためには、企画力や実行力等の更なるスキルアップが必要であるため、引き続き「リーダー育成事業」を実施するとともに、男女共同参画推進に向けて活動していただける新たな人材の掘り起こしを行っていく。なお、地域によって育成状況(知識の習得、企画力等)に差があるため、次年度の事業実施にあたっては、より地域の実態にあった人材育成が図られるような事業スキームに見直しを行う必要がある。
- ・女性人材ネットワークの登録件数(累計)については、女性人材の情報の収集に取り組んだ結果、平成30年度末で83件となった(平成29年度末時点登録件数:60件)。今後も、目標件数達成に向けて、幅広く情報収集を行っていく。
- ・県民の男女共同参画に関する理解を深めるとともに、女性が活躍している団体・女性人材・行政等のネットワーク拡大及び強化、活躍している女性の「見える化」を図ることを目的として開催したフェスタにおいては、男女共同参画に関する啓発や女性起業家のマルシェ等を実施し、来場者に男女共同参画に関する理解を深めていただくとともに、県内で活躍する女性を知っていただく機会となった。次年度も引き続きフェスタを開催し、さらなる県民の男女共同参画に関する理解促進と女性活躍の機運の醸成を図っていく。

ii) 女性のライフステージに応じたきめ細かな就労支援の実施

- ・ウーマンズジョブほっとステーション及び巡回相談等においてきめ細やかな就労支援を実施し、平成30年度の相談件数は621件、就職者数は537人と、働きたいと考える県内の女性の就業に寄与したと考える。
- ・介護サービス、販売・接客、製造・建設業などの求人が多いが、特に女性においては事務職への就職希望が多いという求人求職のミスマッチ解消や、働きたいと考えているが具体的な就職活動に至っていない女性への支援を継続して実施する必要がある。
- ・就職者数は順調に推移しているが、ウーマンズジョブほっとステーション及び巡回相談における相談件数が減少しており、今後、新規相談者の増加に向けた取組が重要である。これまで実施してきた市町での巡回相談は、ICTを活用した就労相談(スカイプ相談)へ移行し、育児・介護などで相談窓口の利用に制約が多い女性の利便性向上を図る。

iii) 男女がともに働きやすい環境の整備

- ・一般事業主行動計画策定にかかる地域別説明会・相談会に29社が参加し、説明会参加企業の約6割が「計画策定を検討する」としており、意識醸成を一定図ることはできたが、法令上は努力義務であったことから、目標とする計画策定数には至っていない。引き続き、企業に対する意識啓発を図るとともに、アドバイザー派遣など細やかな支援を行っていく必要がある。
- ・県内大学生を対象にライフデザインの重要性やキャリア形成についてセミナーを開催した結果、意識啓発度95.1%(H29年度 91.2%)であったことから、意識の醸成がなされたと考える。また、昨年度課題だった女性の継続就業に対する意識について、「継続就業したほうが良い」と考える学生は42.7%(平成29年度 18.1%)となり、昨年度より24.6ポイント増加し、本事業が目的のひとつとしている「女性の継続就業の意識向上」が図られた。

iv) 女性の人材育成と活躍促進

- ・事業所における管理職(係長級以上)に占める女性の割合は、平成30年度は27.3%となり、前年(28.4%)から1.1ポイント低下した。
- ・県内企業においては「必要な知識や経験、判断能力等を有する女性がいらない」という事業所が30.6%を占めていることから、女性管理職登用促進に向けた人材の育成が必要である。なお、独自で研修を実施することが困難な中小企業における女性の登用を促進するため、今後とも、中長期的な人材育成の観点に立った継続的な取組が必要である。
- ・女性起業家掘り起こしセミナー・相談会に75名が参加し、具体的に起業を考え始める女性を掘り起こすとともに、県内起業支援機関による具体的な起業相談につなげた。今後は掘り起こしセミナーをWEB上で公開し、受講を希望する女性の利便性向上を図りながら、起業を志す女性の意欲向上を図るとともに、起業支援機関と連携した伴走型支援により、女性の起業を支援する。

4. 令和元年度見直し内容及び令和2年度実施に向けた方向性

事業番号	取組項目	事務事業名	令和元年度事業の実施にあたり見直した内容 (令和元年度の新たな取組は「R元新規」と記載、見直しが無い場合は「-」と記載)	令和2年度事業の実施に向けた方向性		
				事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
1	取組項目 i	男女共同参画基本施策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県民の男女共同参画に関する理解を深めるとともに、女性が活躍している団体・女性人材・行政等の連携強化、県内で活躍する女性の「見える化」を図ることを目的としたフェスタの開催にあたっては、平成30年度の参画団体を中心とした実行委員会を立ち上げ、より県民に訴求力のある企画を検討する。 ・リーダー育成事業については、各地域の実態にあわせた人材育成が図られるよう、基礎研修の受講を地域の希望制とし、実践研修から取り組むことも可能とする見直しを行った。 	②⑤⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのつながるフェスタの実績・効果等を総合的に検証し、県民の男女共同参画に関する理解の促進及び県内で活躍する女性の「見える化」推進等に向けた、より効果的な取組の再検討・再構築を行う。 ・リーダー育成事業については、事業を開始した平成29年度から令和元年度までの実施結果を踏まえ、今後の各地域の人材育成の方向性を検討する。 	改善
2	取組項目 i	男性の家事育児等促進事業	R元新規	②⑤⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・イクボスの更なる普及啓発と、子育て期の男性を対象とした意識改革(イクメン・カジメン)に取り組む。また、令和元年度に制作した職場の管理職等(イクボス)向けコンテンツをあわせて周知・広報するとともに、各市町及び事業協力企業において啓発素材としての更なる活用を促す。 	改善
3	取組項目 iii	幸せ家族ライフデザイン応援事業	R元新規	①②	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に実施したセミナーの参加者アンケートの結果等を踏まえ、より効果的な実施方法を検討するなど、必要に応じて見直しを行う。 	改善
4	取組項目 ii	女性の再就職応援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウーマンズジョブほっとステーションにおける就業相談及び託児室を運営するとともに、県内各地域における巡回相談はICTを活用した就労相談(スカイプ相談)等に移行する。 	②⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に導入したICTを活用した就労相談(スカイプ相談)については、市町連携のもと更なる広報強化を図るとともに、利用者からのニーズの収集に努め、より相談しやすい環境を整える。 	改善
5	取組項目 iii iv	企業における女性活躍推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事業主行動計画策定にかかる説明会を、経営者セミナーと一体的に行い、より効果的な計画策定につなげる。 ・ながさき女性活躍推進会議のワーキンググループ(企業等社員)にも運営に協力いただき、「異業種交流会」を開催。企業等の自主的な女性活躍に係る取組を推進する。 ・女性管理職登用促進に向けた人材育成講座は、中小企業の受講選択の幅が広がるように2日間コースを新設し実施する。 	②	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事業主行動計画の策定・実行支援等を継続して実施するとともに、官民連携組織「ながさき女性活躍推進会議」との更なる連携・協力のもと、企業経営者、管理職の意識改革等に取り組んでいく。 ・ミドルマネジメンド講座は継続して実施するとともに、受講者の横のつながりや、受講後の交流がより図れるようにネットワークの拡大を推進する。 	改善

注：「2. 平成30年度取組実績」に記載している事業のうち、平成30年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点